

LogVillage2.0 Windows用スポット型エージェント実行手順書

本書は、Windows用スポット型インベントリ収集エージェントを実行するための手順書です。

MGR：LogVillageマネージャ

No.	作業項目	作業内容	備考
エージェントの事前準備			
1	LV_InventoryAGT_xxxxフォルダ内 config.iniを編集	[Config] PSID=0 ※固定値 Server=[リバースプロキシサーバまたはMGRのIPアドレス] Port=[通信ポート番号 (例) 443] SSL=1 (http通信の場合"0") Username=[MGRインストール時に設定した接続ID] Password=[同上パスワード] [Option] InputCode=1 (資産管理番号の入力を行わない場合"0")	収集したインベントリデータの自動アップロードを行わない場合は、[Config]セクションを全て削除すると「スタンドアロン」にて実行します。
エージェントを実行			
3	LV_InventoryAGT_xxxxフォルダを管理対象PCに配置	管理対象PC内の任意の場所に保管 ※テストを実施する管理対象PCは、事前のLogVillage(管理対象PC) への登録は不要です。	
4	LV_InventoryAGT.exeを起動		
5	[取得開始]をクリック	インベントリ収集が開始され、2.で設定した内容に従って自動アップロードされます。 収集完了後、完了ダイアログが表示されます。 ※アップロードが行えない場合、以下のエラーメッセージが表示されます。 	・スタンドアロン実行の場合、LV_InventoryAGT_xxxxフォルダ内にインベントリデータファイル(.dat)が2ファイル生成されます。 ・同ファイルを、MGRの以下の場所に手でアップロードを行ってください。 C:\%spool%\agent\data¥[yyyymmdd_hh] ・手動アップロード後は自動でDBへインベントリ情報が登録されます。
6	[OK]をクリック		
7	[終了]をクリック	exeが終了します。	
インベントリ情報のアップロード確認			
8	(MGR管理画面) ハードウェア台帳を開く	資産管理→ハードウェア台帳	
9	検索条件を設定し[検索]をクリック	グループ：全て 日付で絞り込み："最終ログ取得日" 当日の日付 対象PC：全て 表示台数：任意	
10	エージェントを実行した管理対象PCを確認	当該管理対象PCが表示されているか確認。 ※エージェント実行後、表示されるまで数分要します。	
11	当該コンピュータ名をクリック	詳細情報、ソフトウェアリストが表示されているか確認	